

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：みずき苑

作成日：平成26年4月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事用エプロンの使用について、現在使用している方が本当に必要かどうかの検討を行なう。	個人の尊厳を保つべく関わりを再度見直し、ケアの在り方を介護職員一人一人が考える。	介護職員が集まる勉強会で、話し合いを行う。 話し合いの内容を記録に残し、定期的に検討会を開く。	0.5ヶ月
2	35	火災訓練が自主訓練への移行し、消防署の方の話を聴く機会がなくなった。	職員の火災、地震に向けての訓練の際、評価してもらい意識付けにつながる。	・校区の消防団長宅へ出向き、高齢者施設であることを説明し、知っていただく。 ・災害対策訓練時に協力を依頼する。	6ヶ月
3	2	職場体験や町内のサロンを通して、事業所と地域のつながりを広げていく必要がある。	地域で出ていき、みずき苑を知ってもらう。	・毎月の校区連絡会へ参加する。 ・ナイストライの受け入れ実現。 ・サロンへの継続参加	12カ月
4	10	家族からの意見箱は設置されているが、利用はほとんどない。	利用者さんや家族の満足度がわかる。	・アンケートを取り確認する ・意見の書式を作る。 ・話しやすい雰囲気を作る。	8ヶ月
5	52	台所とリビングの間の食器棚が間仕切りとなり、台所が閉鎖的で、入居者さんにも食事作りの様子が見せられない。	食事作りの様子を見ることで、昔を思い出し、手伝いができるようになる。 食事を作りながらでも見守りができるようになる。	・食器棚の配置換えを行う。それに伴い使用していない食器の処分を行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。